

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	帝王切開癒痕部妊娠に対する治療アウトカムに関する後ろ向き観察研究		
1. 研究の目的と方法	帝王切開癒痕部妊娠（以下、CSP）は、以前に受けた帝王切開で子宮を切開した創部に着床する異常妊娠の一つです。正常妊娠とは異なり、子宮筋層の薄くなった部分に妊娠するため、子宮破裂とそれによる大量出血のリスクがあります。近年では帝王切開の件数の増加とともに CSP の患者さんも増えていますが、未だ標準治療が確立されていません。現在はメトトレキサートという抗がん剤を使用した薬物療法や、子宮内容除去術、子宮鏡下手術といった多様な方法がありますが、治療不十分な場合は子宮全摘術が考慮されます。患者さんごとに最適な治療方法を明らかにすることを目的に、CSP 患者さんの診療記録から治療経過を解析し、標準的な治療方法の確立に向けた検証を行います。本研究は研究対象者より直接同意を得て研究を行うことが困難であるため、本研究に関する情報を当学のホームページ上で公開し、研究参加を拒否できる機会を設けます。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	CSP の患者さんで、2014 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の間に附属病院にて CSP の治療を受けた 18 歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	CSP 診断時の年齢・妊娠週数、BMI、月経歴、妊娠分娩歴、不妊治療歴、臨床検査結果（血液検査、超音波画像や MRI 検査）、CSP に対する治療方法、手術記録、治療後の経過	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座
		氏名	岡本愛光
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 工藤優香梨	
	(4) 共同で研究 を実施する	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

	施設とその責任者	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 4 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 研究責任者：教授 岡本 愛光（おかもと あいこう） 窓口担当者： ・ 附属病院本院：助教 工藤 優香梨（くどう ゆかり） 電話番号：03-3433-1111（内線 3521） ・ 附属第三病院：教授 山田 恭輔（やまだ きょうすけ） 電話番号：03-3480-1151（内線 3710） ・ 葛飾医療センター：准教授 斎藤 元章（さいとう もとあき） 電話番号：03-3603-2111（内線 5910） ・ 附属柏病院：教授 高野 浩邦（たかの ひろくに） 電話番号：04-7164-1111（内線 2183） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。